

## いきいき市民活動情報

市内の与板刃物工芸館から、お薦めのイベントに関する情報が寄せられました。については、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ、長岡市民の「市民力」や「地域力」を生かした活動を、貴社で取材くださいますようお願いいたします。

|             |  |
|-------------|--|
| 標 題         | <b>21年の歴史に幕を下ろします</b><br><b>地域・文化の発信基地「与板刃物工芸館」が2月末で閉館</b>   |
| 日 時         | 2月1日（土）～28日（金）午前9時～午後4時  |
| 場 所         | 与板刃物工芸館（長岡市与板町与板487）与板仲町バス停前   |
| 内 容         | <p><b>イベントの主旨</b></p> <p>与板刃物工芸館は、与板打刃物のPRのために与板地域の鍛冶屋さんがオープンさせました。埼玉大学教育学部の学生との交流による与板打刃物で作ったアート作品の展示など、さまざまな視点から与板打刃物の魅力を発信し続けました。</p> <p>21年にわたり与板刃物工芸館を営業してきましたが、このたび管理者の高齢化などにより2月末で閉館します。</p> <p>本来、隔週日曜日のみの営業ですが、2月はこれまでの感謝の思いから毎日営業します。</p> <p><b>○主な内容</b></p> <p>(1) 鍛冶職人を引退した店主がこれまで製作してきた打刃物を約500点展示<br/>(閉館にあたり、打刃物展示用のため木型職人さんが特別に作った棚も見応え十分です。)</p> <p>(2) 与板打刃物を使って作成した木彫りの置物などの展示</p> <p>(3) 埼玉大学学生との交流など、与板刃物工芸館の歴史を振り返ることができる写真、資料の展示</p> <p><b>越後与板打刃物</b><br/>上杉謙信の家臣が16世紀頃に刀職人を招いて、打刃物を作ったのが起源とされ、刀鍛冶の高度な技術が受け継がれ、江戸中期には大工道具の産地として名声を誇りました。与板の打刃物は、火造りの鍛造技法によるもので、鉋（かんな）の二本付け、鑿（のみ）の二本どりなどの製法や、ペーパー車を使った研磨などが特徴です。</p>   |
| 問 い 合 わ せ   | 与板刃物工芸館 川野 正 電話0258-72-2497  |
| 情 報 提 供 課 名 | 与板支所地域振興・市民生活課 井上 電話0258-72-3100   |